

提 言

「民都 400 年記念 10 年祭」(Civil Metro Decade Festa) 「10 大事業、10 年間、経済効果 10 兆円」の大阪民都 400 年行事群

堺屋 太一

- (1) 2020 年の五輪（オリンピック、パラリンピック）東京開催は真にめでたい。これを真に有意義なものとするためには、
 - ①東京一極集中の防止
 - ②オリンピック直後の落ち込み防止
 - ③規制強化の防止の 3 つが重要である。東京オリンピックを自由な楽しみの祭典とし、「日本オリンピック」といえるようなものに拡大、楽しみの倫理を拡げる必要がある。
- (2) 大阪は、1615 年に武士大名の勢力が存在しなくなったが、淀屋常安、安井道頓ら民間人の力によって再興、10 年後には「天下の台所」として繁栄するようになった。このことを記念して、2015～2024 年の 10 年間、10 大行事を行い、「民都 400 年」を祝うと共に、日本の観光産業を盛り上げ、国民の間に楽しい暮らしを拡げる。
- (3) 具体的には、10 の大行事を展開、10 年間続ける。これには現有の施設公共用地などを改装使用し、主として民間活力によって行事を推進する。これらの行事は、民営で収支償うことを条件とし、政府、府市は行政面で支援する。
- (4) 2015 年には「団塊の世代」のすべてが 65 歳以上の高齢者となり、2024 年には 75 歳以上の後期高齢者となる。また、日本の家庭の半数が単身または夫婦のみ家庭になるともいわれている。このような世の中で日本人はどのような楽しみと絆を持ちうるか、広い地域で行事と施設を展開、好みに応じて選べる好縁社会を実現すべきだろう。官僚主導のお仕着せ公民館運動から脱して、内外近遠の人々が楽しめる 1 億総評論家時代を創るべきだ。10 大行事はそのきっかけである。
- (5) 10 大イベントで、10 年間で 10 兆円の経済効果を目指す。2020 年～24 年には、大阪を訪れる外国人観光客を延べ 1000 万人まで増やす。

民都 400 年記念 10 年 10 大祭（概要）

大阪府で 10 の巨大行事を 10 年間行う。いずれもこれまでに類例のないもので、世界驚愕全国括目の行事を創造する。

そのことによって

- ①大阪の産業構造を一変、日本を「額に汗して働く規格大量生産の工業社会」から、「楽しみに溢れた好縁型知価社会」に変える。
- ②日本を、規格と情報と文化は東京から全国に流される一極集中構造から、個性と好みで住まいや仕事を選べる選択構造に変える。
- ③高齢者の単身家庭や夫婦だけの家庭の多い「嫌老孤立暮らし」から、外国人観光客も多くれば身近に楽しみも多い「好縁参加の暮らし」に変える。いわば「千万人総評論家の大阪、3 千万人関西人総参加型の世の中」を創ろうというものである。

10 大行事は民間事業として行い、国や府市の行政機関は、規制の緩和、道路河川公共施設の利用促進、群衆整理、広報宣伝などで支援する。

10 大行事を 10 年間行えば、市民に受け入れられる行事事業は、その後も定着発展する。甲子園の全国高校野球も、宝塚歌劇も、行政に関与されることなく育った文化である。

[1]道頓堀（世界最長 800m プール）

[2]「泳ぎのマラソン」世界選手権

[3]昇龍祭（全都船祭）

[4]道頓堀水上ステージ

[5]梅北板塀 500m 屋外絵画展

[6]街区公園ネーミング・ライツ

[7]大阪縦断自転車ツアー（関空から万博公園まで）

[8]御堂筋カッポ（略）

[9]恒例一万人の第九交響祭（略）

[10]ロボット、ラジコン世界大会（略）

[1]道頓堀プール

1615年に開掘された道頓堀川にキャンバス地の布函を入れ、水道水を満たして世界最長のプールとする。

現在のリバーサイド・ウォークをプールサイドとし、着替え場やデッキチェアを配置する。ここでは[2]の「泳ぎのマラソン世界選手権」も行われる。夏期以外の期間は撤去、道頓堀川は「ステージ・シップ」の通う水上ステージに変身する。

①道頓堀川にキャンバス地の布函を入れて水道水で満たして遊泳プールとする。

長さ800m、幅11m、深さ1.2mの世界最長の遊泳プールとなる。水道水約10,000トンを入力、毎日の塩素注入と水道水の補給、週一回の全量水替えにより最良の水質を保つ。

②兩岸のサイドウォークには着替え施設、化粧・衛生施設、デッキチェア、ビーチパラソル等を並べた「プールサイド」を完備、南北両側に各80本の照明音響装置を内蔵した街灯列を造る。境界線は帆幕で遮断、内側の「プール領域」を完全な「予定調和」化したリゾート・ゾーンとする。

③境界内の「リゾート・ゾーン」への入場は有料とする。プリペイド・ウォッチャーによって管理され、入場者は時間内なら出入りできる。プール領域内での飲食や買い物は沿岸店舗からの出前とし、プリペイド・ウォッチャーで決済できる。

④プール全域は5区画に分かれ、それぞれの個性的な色彩で飾られる。各橋梁を潜る際には「光の芸術」「音と水のマジック」などを楽しむことができる。

⑤プール領域の外側には幅2mのフリーゾーンを設け、歩行者の通り抜けを可能にする。道頓堀通り（南）と宗右衛門町通り（北）からは随所にプールサイド・フリーゾーンに降りられる店舗内通路を設ける。

⑥道頓堀プールの営業期間は、6月下旬より9月上旬までの9週間余とする。この期間を過ぎれば、函布は水を抜き、折りたたんで下流倉庫に格納される。「道頓堀プール」自体が真夏に出現する巨大イベントなのだ。

[2]世界唯一の「泳ぎのマラソン」選手権大会

道頓堀プールを利用して、往復 1,609m（一哩）の「泳ぎのマラソン」世界選手権大会を行う。折り返しのない超長水路なので、抜きつ抜かれつの熱戦が期待される。

また、コース別の区分がないので、一度に 100 人以上が泳げるだろう。

出場希望者が多数と予想されるので、7 月はじめから午前中は資格検定及び予選審査を行い、これに合格した者だけが決勝に出場できる（但し、オリンピック等の国際水泳大会で実績ある者は「招待選手」とする）。「泳ぎのマラソン」は「世界泳ぎのマラソン協会」（または日本水泳連盟）が主催し、そのルールは主催者が定める。

- ①「泳ぎのマラソン世界選手権」の種目は、男子オープン、女子オープン、男子リレー（400m×4人）、女子リレー（同）の4種目とする。
- ②7月上旬より毎日（水替え日を除く）午前9時より11時30分まで「遠泳教室」を開き、一般市民や少年の遠泳資格検定及び予選審査を行う。
- ③規則通りに1600mを完泳した者には「遠泳資格」を、一定記録以上の者には決勝出場資格を与える。
- ④「泳ぎのマラソン・リレー」に出場するチームは、遠泳教室において「決勝出場資格」を得た者4人以上のメンバーを揃えたチームに限る。
- ⑤優秀な成績を挙げた者には、主催者（世界泳ぎのマラソン協会）より賞状が、協賛企業より商品が授与される。
- ⑥「泳ぎのマラソン決勝戦」は8月下旬の休日に行う。決勝の様子は、テレビによって世界に放映される。
- ⑦泳ぎのマラソン出場者は、予選、決勝とも写真撮影を許容する。但し、その公開には本人合意を必要とする。

泳ぎのマラソン世界選手権大会は、テニスのウィンブルドン全英大会、ゴルフのオーガスタ全米大会と並ぶ国際行事に育てたい。道頓堀プールは、競馬のダービー競馬場と並ぶ世界名所となるだろう。

[3]昇龍祭 (6月中旬)

道頓堀プールの営業期間は、6月下旬から9月上旬までの9週間余、他の40週間はステージ船の運航する「水上移動ステージ」となる。夏期のプール仕様をしつらえる行事が巨大水上パレードの昇龍祭である。

①6月中旬の日曜日、下流（住之江付近）の倉庫から出た道頓堀プール資材（布函、着替え施設、衛生施設、デッキチェア、パラソル等）は50m分ずつ16隻の荷物船に分載され電飾の覆いで飾られて川を遡行、木津川から堂島川、土佐堀川を一周したのちに道頓堀川に入る。

②先ふれにはドンドコ船が、先導には巨大な竜頭船が、また多数の客船が伴走する。

この行事には大阪の主要5社が参加、「大阪の夏」の到来を祝う。

昇龍祭は、世界最大級の水上祭りになるだろう。

③大阪市内の川沿いには、照明を灯して昇龍祭を祝う。特に堂島川の高速度道路橋脚にはネオンサイン等の広告を設置、美しさを競うコンクール（照明芸術祭）を行う（この発表後7ヵ月ほど残す）。

昔は「河川上の高速度道路は都市美観を損なう」という宣伝が多かったが、これを機会に「光の美術街道」に換える。

オリンピックもかつてはコマーシャルを排除した「国策行事」だったが、今ではコマーシャル大歓迎になっている。世界の美意識が大転換したのである。

また、「広告が多いと交通事故が増える」との誤説もあるが、死亡事故は退屈な過疎道で多い。

④昇龍祭のクライマックスは、龍頭船が逆行して各荷船をお祓いする儀式である。

道頓堀プールの非夏仕様のサイドアベニューでは多数の観客がこれを眺める。

（現在大阪には全国に報じられる祭がほとんどない。昇龍祭は全世界的名物となる巨大水上パレードである。）

⑤9月中旬、プール資材は撤去し折りたたまれて下流に納められる。その際にも「降龍祭」を行うが、こちらはずっと地味な祭とするだろう。

[4]道頓堀水上ステージ

道頓堀川は、夏期はプール仕様となるが、非夏期（9月中旬～6月中旬）の夕暮れからは水上ステージ仕様となり、ステージ船、観客船等が移動舞台を展開する。プールサイドは観光席となる。

- ①水上ステージは、先駆け船、観客船（前）、ステージ船、観客船（後）、後払い船の5隻の水上移動ステージで構成される。いずれも電池モーターで消音無公害船とする。
- ②先駆け船は3人乗りボート。水上ステージの開幕を告げる役割をする。
- ③観客船は、ステージ船の前後に各一隻（乗客定員40人）とする。発光装飾により两岸の観衆を楽しませるのが主目的。乗客は座席のスイッチで外装電光を点滅、息が合えば两岸の観衆の喝采を浴びる。
- ④ステージ船は、長さ20m、幅6～7.5m、前後航行可能な構造。大劇場の舞台を乗せた規模で迫り上げや演出マストを持つ。10～20人の演技者が登場、音楽、舞踊、曲芸等を演じる。
- ⑤後払い船は3人乗りボート。終末を告げると共に、帰り客を分散させる役割もある。
- ⑥「道頓堀劇団」を結成、道頓堀特有のリズム、振付け、曲芸を披露する。ハワイアンやフラメンコのように1つのリズムと仕草とファッションコンセプトで、いくつもの曲目演題ができるようなものとする。
- ⑦道頓堀水上ステージでは、9月の「降龍祭」（プール仕様の引上げ）、11月の「菊花祭」、12月の「クリスマス」、年末年始の「新春」、1月の「戎祭」、「東風（こち）祭」「時代祭（太閤祭）」「桜花祭」「新緑祭」の10大祭典を行う。前記「昇龍祭」はその最後として最大のものとする。
- ⑧なお、昼間にはラジコン船コンクール、ロボットコンクール、新婚さんパレードなどが催される（テレビ局等の持ち込み企画も歓迎）。また客船の「大阪周遊」も行われる。
- ⑨「道頓堀プール」場内には3カ所の船着場がある。船上パレードはここで数十分間停船、たつぷりと演技を見られる。ここには観客席を設け、ワンドリンクサービス付の特別料金を徴収する（その他の沿岸は「立ち見席」とする）。
- ⑩道頓堀プール領域は、安全と衛生上の保護のためにも全期間共有料とする。但し、非夏期間の立見席は1000円程度で入場できるようにする。
- ⑪マイクを通じた音響は、两岸に設置された照明音響装置を通じて流される。生演奏の音声のみが場内に直接聞こえる。従って道頓堀プール場外では静かである。

[5]梅北板塀屋外絵画展

関西はかつて新抽象絵画「具体」が活躍した舞台である。本企画は、美術絵画芸術の振興を目指す行事である。

梅田北ヤード西側は、鉄道の地下埋設や建物建設などで今後10年間は「工事中」になり、板囲いで囲われる。これを素っ気ない白地のままにしたのでは都市の品格と美意識が疑われるだろう。

東京など各都市では工事中の道路占拠板塀に絵画やデザインを描いて街の楽しさを出そうと試みているが、必ずしも十分ではない。まして500mもの長い間、殺風景な塀が続けば「大阪の顔」が潰れ、東側の新築ビルをも廃れさせかねない。

ここに絵画壁面を割り当て画家集団に絵画作品を描かせれば、市民や観光客の楽しみとなるばかりか、新芸術誕生の場ともなる。10年間500mの板塀の出現は絶好のチャンスである。

- ①500mの板塀を建設会社が設置すれば、幅5m、高さ2m（板塀の高さ、但し天地0.5mを除く）の区画を設定（100区画）。各区画毎に絵画執筆者を募集する。
- ②応募者は、表現しようとする絵画の原画（紙または板1㎡以下）を提出、審査に合格した者には「制作権」を与える。
- ③制作権を得た者は、所定の場所に審査合格した原画に近いものをペンキ、スプレー、その他によって描く。
- ④各絵画には一定の大きさの提供会社（スポンサー）名を入れる。提供会社は、1点100万円の製作費を制作者に提供する。公序良俗に反するものは即刻消去する（原画の段階でも審査するが、制作者が原画と異なる表現をすることもあり得る）。
- ⑤制作された作品は、少なくとも6ヵ月展示、通行人は「最も好きな作品」に投票する。これによって上位10%に入った作品は存置、他は白ペンキで消し、新たな作品を募集する。
- ⑥入賞し存置される作品には、スポンサーおよび主催団体より賞金を与える。入賞作品の中から美術専門家の審査により3点の優秀作を選定し、賞金を与えマスコミに発表する。
- ⑦美術教育機関、マスコミの協力を仰ぎ、巨大な芸術祭に育てる。
- ⑧10年間の最優秀作品は、一切の工事完成後も公開広場等に展示顕彰することとする。
- ⑨出展作品は写真に撮影して冊子として出版、映像として保存する。

⑩100 の制作集団が 20 回の選択を繰り返せば、相当な名所となり、次第に水準が向上するであろう。スポンサー企業もごく少額で広告表示が可能になり、十分なメリットがある。

また、梅北の道路が遊歩道として市民の楽しみ場ともなるだろう。

[6] 街区公園のネーミングライツと個性的改造コンクール

街区公園は100㎡から数千㎡まで様々である。かつては「こども公園」といわれて遊技具や砂場があった。少子高齢化に伴い様々に改造されているが、多くは十分に活用されているとはいえない。特に商店街においては「店舗の途切れ目」として嫌われている例も多い。

この街区公園の名称権（ネーミングライツ）を与え、名称権を得た企業のアイデアで改造を競わせる。もちろん「公園」の範囲を逸脱する建築物は不可で、花壇、ベンチ、藤棚、LED照明、ワンチャン公園など様々なアイデアが出て、街の個性と潤いになるだろう。

- ①大阪府下で年間10~20カ所を選んで、名称権を与え、それぞれの企業の名と技術と美意識による改装と管理を行わせる。公園内の施設（ベンチや遊具、花壇等）には企業名を書くことができる。また、個人や企業の記念碑的なものも設置可能とする。
- ②これらの建設改造費は、自治体への寄付として所得控除にする。
- ③名称権を得た者は、改造計画を自治体および地域住民に開示、賛同を得るものとする。
- ④当該公園の維持補修費は、名称権者の負担とする。
- ⑤名称権者は、当該公園を商業撮影、その者の行事等に利用することができる。但し、近隣住民の承諾を必要とする。

私は1983年に当時の大島市長と協議、周防町のゴミ捨て場となっていた街区公園を、渡辺豊雄氏の設計で音楽演奏のできる広場に改装した。これが「アメリカ村」のきっかけである。これによって御堂筋西側が急に活気づき、小学校跡は商業施設になった。本運動は、それぞれの地区で街区公園を個性ある施設にして、地域住民の楽しみと結束の象徴にするものである。

[7]大阪縦断自転車ツアー

ニューヨークで行われている「ファイブボロー・サイクルツアー」の日本版。決して競争ではなく、一般人の自転車旅行である。

南の関西空港を出発点に、北の万博公園までを自転車で行く。

ニューヨークは、毎年5月第一日曜日3万人が参加、マンハッタン南端から北のブルックリン、クイーンズ・ブルックリンハイウェイを通過、ベナロサ橋を渡ってステッタン島（自由の女神の裏側）まで67 km、制限時間6時間である。この日はハイウェイも開放、地下鉄も自転車持ち込みが許される。参加料は30ドルである。

- ①参加者は、当日朝10時までに自転車持参で関西空港に集合する。自転車だけを宅急便で送ってもよい。自転車配達トラックを100台くらい出し、市内各所から関空に送り届ける。堺のメーカーから2000台くらい借り、希望者に貸与する。
 - ②午前10時にスタート、関空から橋を渡って高速道路を北上、大阪市内に入り、環状高速道路を一周して御堂を北上、万博公園まで行く。
 - ③大規模な歩行者天国であり、警察の群衆整理能力を鍛錬する絶好の機会ともなる（ニューヨークでも開催目的の一つは「警察の能力向上」とされている）。
 - ④途中には移動式トイレ、飲食販売、救急所などを配置する。これは都市の非常時対応訓練とされている。
 - ⑤6時間後には清掃車が来る。これよりも遅れた者は除外される。
 - ⑥警察、清掃、非常時訓練と共に、都市の行催事対応能力のデモンストレーションとして大きな意味がある。要人の多く集まる国際会議や災害時の非常対策能力を高める練習にもなる。また、非常時対応施設（移動トイレ、路上給飲食、急速清掃車など）も実験できる。日本では災害訓練の機会がないため、災害時の困難が大きい。また、要人警備や巨大行事では「全市停止状態」になってしまう。大阪も年に一回の訓練としてやるべきだろう。
- そのためにも、高速道路の片方を止めて自転車専用レーンとする本行事の意味は大きい。